



カトリック札幌教区正義と平和協議会 90min. 学習会

北海道農業の “いま”と“これから”

講師：宮入 隆さん

／北海学園大学経済学部教授

2022年9月27日(火)

18:30～

札幌教区カトリックセンター + ZOOMによるオンライン

札幌市中央区北1条東6丁目10 tel: 011-241-2785

お申込方法は2枚目を▶

参加費無料

講師からのメッセージ

いまコロナ・パンデミックの経済停滞にロシアによるウクライナ侵攻が相まって、社会的な不安の高まりとともに、物価高・円安が国民の消費生活を直撃しています。また、食料危機という言葉が頻繁に聞くようになりましたが、現在の日本農業は「クワトロ・ショック」(①コロナショック、②異常気象、③中国による食糧爆買い、④ウクライナ紛争)に襲われているという識者もいる状況です。

自由貿易や規制撤廃が経済を安定化させるという新自由主義的な政策一辺倒は間違いなく私たちの生活、そして農業生産に危機をもたらしています。他方で、北海道農業は生き残りをかけて規模拡大を進め、飼料・肥料・種子等の輸入依存だけではなく、労働力も外国人労働者への依存を強め、「グローバル化」をぬきに成り立たない状況です。

本学習会では、日本の食料基地といわれる北海道農業は「どうなっている？」という疑問に応えつつ、いまここにある食料と農業の問題をどうみるべきか、地域と農業が共に支え合うという視点から皆さんと考えてみたいと思います。



1972年 長野県出身。

2005年 北海道大学大学院農学研究科修了。
博士(農学)。

2005年 北大科学技術コミュニケーター養成
ユニット博士研究員

2008年 秋田県立大学生物資源科学部助教

2013年 北海学園大学経済学部准教授

2016年 現職

専門は農業経済学

主な著書

『北海道北部の地域社会—分析と提言』『産地再編が示唆するもの』『北海道から農協改革を問う』『お隣は外国人—北海道で働く、暮らす』などがある。*すべて共著